

Gunma Symphony Orchestra CLASSIC SPECIAL

2023 **9.9** **土**

15:00 Start 14:30 Open

シルクホール

ヴァイオリン
服部百音
Violin
MONE HATTORI

指揮
キンボー・イシイ
Conductor
KIMBO ISHII

管弦楽 **群馬交響楽団**

県民音楽のひろば 第47回県民芸術祭参加事業

群馬交響楽団 クラシック・スペシャル

【プログラム】 モーツァルト／歌劇《フィガロの結婚》序曲
ブラームス／ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77
メンデルスゾーン／交響曲第4番 イ長調 作品90「イタリア」

プログラム、出演者は予告なく変更になる場合がございます。

【料金】全席指定 3,500円(るうふ会員3,200円) 高校生以下 500円

未就学のお子様は入場できません。



2枚一緒に購入すると……1枚3,250円(会員2,950円)

3枚以上一緒に購入すると…1枚3,000円(会員2,700円)

限定
先着
200組

●お願い:アトリウム(入場列等)の混雑を防ぐ為に、開場時間に合わせてご来場くださいますようお願い申し上げます。アトリウム(入場列等)の混雑状況によっては早めに開場させていただきます。

美喜仁桐生文化会館

チケット
専用電話

0277-22-9999

営業時間
9:00~22:00
(火曜休館)

オンライン
チケットは
コチラ



コンサートへの誘い!!

今年の県民音楽のひろばは、指揮者・ソリストともに桐生初登場。指揮者は、これまでにマクデブルグ歌劇場音楽総監督、大阪交響楽団首席客演指揮者、ドイツ・シュレースヴィヒ＝ホルシュタイン州立劇場音楽総監督などを歴任するなどヨーロッパと日本を中心に活躍するキンボー・イシイさん。幼少の頃にヴァイオリンを故風岡裕氏に師事するなど群響とも縁のある彼の指揮に注目。一方ヴァイオリンの服部百音さんは、幼少の頃から活躍する日本を代表する若手ヴァイオリニスト。テレビに出演したり、雑誌に取り上げられたりすることも多いので彼女のことをご存じの方も多と思います。彼女が演奏するブラームスのコンチェルトをどうぞお楽しみに。



キンボー・イシイ(指揮) KIMBO ISHII ◆ Conductor

幼少期を日本で過ごし、ヴァイオリンを風岡裕氏に学ぶ。12歳で渡欧、ウィーン市立音楽院にてヴァイオリンとピアノを学ぶ。

86年に渡米、ジュリアード音楽院にてドロシー・ディレイ等各氏のもとで研鑽を積むが左手の故障(局所性ジストニア)のためヴァイオリンを断念、指揮に転向。小澤征爾等をはじめサイモン・ラトル等に師事。1995年、デンマークで開催されたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで4位に入賞。

ベルリン・コミッシェ・オーパー首席カベルマイスター、マクデブルグ歌劇場音楽総監督、大阪交響楽団首席客演指揮者、ドイツ・シュレースヴィヒ＝ホルシュタイン州立劇場音楽総監督などを歴任。日本においては、N響、都響、読響、新日本フィル、名フィル、札響、九響等を指揮。オペラでは、びわ湖ホール・オペラピエンナーレ『フィガロの結婚』、関西二期会『魔弾の射手』を指揮。10年、「第9回斎藤秀雄メモリアル基金賞」指揮者部門受賞。



服部百音(ヴァイオリン) MONE HATTORI ◆ Violin

5歳よりヴァイオリンを始め、8歳でオーケストラと初共演。2009年にリピンスキ・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクールで史上最年少第1位、その後も多数の国際コンクールでグランプリを受賞。2017年に新日鉄住金音楽賞、岩谷時子賞、18年にアリオン桐朋音楽賞、服部真二音楽賞、2020年にホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞を受賞。現在はN響、読響、東フィル、東響、日フィルをはじめとする数々の著名オーケストラ、指揮者と共演し国内外で演奏活動を行っている。現在、桐朋学園大学音楽学部大学院に在籍。使用楽器は日本ヴァイオリンより特別貸与のガールネリ・デル・ジェス。

オフィシャルウェブサイトは<https://www.mone-violin.com/>



群馬交響楽団

GUNMA SYMPHONY ORCHESTRA

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2022年度までに延べ646万人を超える児童・生徒が鑑賞し、1982年からは高校音楽教室も開催されている。1981年から群馬県の支援により音楽活動を充実させ、1994年には「ブラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。2003年NHKテレビ番組「プロジェクトX～挑戦者たち～」で楽団の草創期が紹介され、2004年に天皇后両陛下、デンマーク国女王陛下同王配殿下をお迎えしての移動音楽教室を開催し、2014年には定期演奏会が500回に達した。群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されており、2020年に創立75周年を迎えた。

また、2019年9月に開館した「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、2023年4月に就任した飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。